

空き家専門情報サイト

うるる 都内中心に8万軒公開

クラウドソーシングサービス「うるる」(東京・中央、星知也社長)は18日、空き家専門の有料情報サイト「空き家活用ポータル」を立ち上げる。

東京都内を中心に約8万軒の空き家データを公開する。不動産やリフォーム

企業など初年度で約150社の利用を見込む。情報サイト「空き家活用ポータル」の利用料金は月額2万円で、1軒空き家を検索するごとに100円課金する。利用企業は1軒あたり2千円の

追加料金を支払えば、物件情報を独占でき、競合する企業は空き家情報を見られなくなる。空き家は全国に約820万戸あるとされ、倒壊や火災の危険性があるなど社会問題になってい

る。当初は関東地方の情報を中心だが、今後は全国のデータを収集する。これまで空き家に関する情報は乏しく、持ち主側は相談先が分からず、買い手側も空き家を探すのに苦労していた。